

【三月の言葉（令和七年）】

よき友を大切に

「善知識ぜんちしき・同行どうぎょうにはしたしみ近づけとこそ

説きおかれて候へ」（親鸞聖人御消息）

「善知識」とは、よき友や、自分のことをよく知っていてくれている人、教え導いてくれる人のこと。「同行」とは、同じ教えのもとに結ばれた仲間を指す言葉です。親鸞は「善知識や同行とは親しく、大切にすべきだ」と説かれています。

仲間の励ましによって、どん底から立ち直れることもあれば、まわりの人の甘い言葉で思わず道を踏み外しそうになることもあります。どんな人とつき合うかによって人生が大きく変わります。

お互いの生き方を尊重しながら、よい影響を与え合うことのできる人こそ、あなたにとっての「善知識」です。思いやりを忘れず、いただいたご縁を大切にしましょう。

（「くり返し読みたい親鸞」ヘリベラル社より）